

洞爺湖町部活動地域展 開の取組状況について

令和7年度 第1回 洞爺湖町部活動地域移行（展開）検討委員会

令和7年11月26日（火）

洞爺湖町教育委員会社会教育課

1-1.

洞爺湖イグナイト設立に向けた経過について

1. 令和6年8月6日 役員会開催：バレーボールの普及についての協議
2. 令和6年10月29日 役員会開催：バレーボール交流会の開催について
3. 令和6年11月2日 第1回バレーボール交流会の開催（洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町から50名参加）
4. 令和7年1月28日 役員会開催：バレーボール体験会の開催について
5. 令和7年3月22日 第2回バレーボール体験会の開催（洞爺湖町・壮瞥町より28名参加）
6. 令和7年4月15日 役員会開催：地域クラブ設立に向けて
7. 令和7年5月2日 （仮称）TOYAKOバレーボールジュニアクラブ 3町小中学生対象に募集開始
8. 令和7年5月13日 役員会開催：申込状況確認（18名申込あり）
9. 令和7年5月29日 役員会開催：クラブ設立に関する協議
10. 令和7年6月8日 地域クラブ設立総会

1-2.

洞爺湖イグナイトの内容について

1. 対象 洞爺湖町・豊浦町・壮瞥町の小中学生（男女）※現役バレー部員も可
2. 活動場所 虻田体育館を基本とし、申込状況により各町体育館、小中学校体育館を利用
3. 活動日 週2回。基本は木曜日と日曜日とするが、施設等の利用状況により柔軟に対応
4. 指導者 ボランティアとする。指導者を常時募集する。
5. 費用 年会費一人2,000円（スポーツ安全保険料を含む）
6. 活動内容 令和7年度については、大会の出場を目指さず、バレーボールの楽しさを知ってもらうことに努める。
7. 用具 ボールは協会が用意する。収納場所は虻田体育館器具庫。次年度以降は用具費が必須となることから教育委員会と協議を進める。
8. その他 規約の作成。保護者会の設立。指導者会議の実施。

1-3.

洞爺湖イグナイト設立に向けた今後の課題について

1. 部活動との関係 R7は部活動と地域クラブが並立
 ➤平日は部活動、休日は地域クラブ
2. 対外試合 R7は練習試合のみで大会は出場しない。
 ➤R8以降の中体連をどうするか。
 ⇒(1)虻田中学校で出場（その場合、洞爺地区と他町の生徒は出場できない）
 ⇒(2)洞爺地区、他町の生徒を含めて地域クラブで登録して出場
 ※ (2)であれば完全移行とするか
3. 費用面 R7は教育委員会の助成なし
 ➤R8以降、指導者謝金、用具（ネットなど）の助成を検討
4. 指導者 指導者の数が不足しているので常時募集する。
5. 送迎 送迎は当初は保護者にお願いします。
6. 3町との連携 特に上記3.～5.については3町で協議を深める必要

2-1. TOYA.FC（サッカー少年団）について

1. 令和6年12月19日 代表者との協議

- 部活動の地域移行により、中体連への大会出場ができる団体（少年団のU15・クラブチーム等）の創設を検討。
- サッカー少年団TOYA・FC（小学生）には、豊浦、壮瞥、洞爺地区からも参加している児童もあり広域で考えたい。また、伊達でも中体連の大会へ出場したい生徒を含めて1市3町で募集し連携して行いたい。
- 最低5名程度は確保が必要となり教員（部活動顧問）の協力が不可欠と思う
- スタッフ費用の協力体制と一番の問題は送迎であり、送迎の補助等を町として予算化してもらえるか
- TOYA・FCは週1回（金）ポロモイスタジアムで練習をしているが、少年団登録を行っているので使用料は減免扱いのため支払っていないが、照明の電気代は支払っている。（2時間程使用時/4,000円程度）月謝についても徴収しており、1人目1,500円、2人目1,000円程度

2-2. TOYA.FC（サッカー少年団）について

2. 令和7年4月24日 代表者との協議

- ▶TOYA・FCとしては、R9年度からの部活動の地域移行として、R7とR8は徐々に移行する期間としたい
- ▶指導者への声掛け済みであり3名程から承諾をもらっている。ただ、具体的な支援等が示されていないので、現時点ではそこから先の進展はない状況。
- ▶仕事をしながらの指導なので、教員の兼職兼業による協力が必要。
- ▶現在、伊達市にある伊達キックファイターズ（小学生のサッカーチーム）と4月から連携しており、全体で4名程度の協力は得られる見込み。

3. 令和7年11月2日・8日

- ▶西胆振サッカークラブ（仮称）体験会実施

3. 自由研究会（洞爺中学校）

1. 洞爺中学校では令和6年度に現存のテニス部での募集を停止し、個人（一人でも参加可能、虻田中学校にて活動中）のバドミントン部として募集。しかし、この年は希望者がなくバドミントン部の開設は見送られた。
2. その後、新1年生の3名から自由研究会をつくりたいので協力して欲しい旨が学年団より提案された。中学校として「地域移行を控える時期に当たり、多くの生徒のニーズに応えられる環境を模索したい」との思いから、試験的に学年団主導で週2回放課後の活動を実施した。
3. （生徒指導部の見解） 昨年度の自由研究会の活動反省を踏まえ、地域クラブ連絡協議会を立ち上げ、地域の方々のご協力、ご理解を得ながら、児童生徒の要望に応えることのできる環境づくりをサポートしたいと考える。
4. 地域クラブ連絡協議会の発足 （令和7年5月23日）
構成：町教委担当者、小中PTA会長及び学校長、生徒指導部、地域PTA
5. バドミントン部及び吹奏楽部は今後、連絡協議会において方向性を検討する。

クラブ設立（7月）（活動場所、内容、時間等の検討）

↓

児童、生徒への周知、募集（7月）

↓

活動開始（8月）2学期より

4. 今後の主なスケジュール

- 令和8年2月～

- 推進計画（案）の検討（地域クラブ認定制度含む）

- 令和8年4月～

- 「改革実行期間」がスタート（バレーボール、サッカー等一部地域展開）

- 指導者への謝金、生徒・指導者の保険を予算措置

- 指導者講習等の実施